

幽霊が移民する!? 見えない隣人と旅する、神里流ホラーコメディへの挑戦。

岡崎藝術座

Yudai Kamisato / Okazaki Art Theatre

神里雄大

上門 カキ 大村あさひ
みか / ビートルズ・サノ / 杉井 暁

怪談

2023.9.2-9.3
会場: 久留米シティプラザ Cボックス

知る/みる/考える
私たちの劇場シリーズ
vol.3

『イミグレ怪談』

海を越えて移動する人々を
描いてきた劇作家・演出家、
神里雄大による岡崎藝術座
久留米初登場。

同窓会があるからと集った3人。焼酎のルーツを求めてタイに渡り、そこで出会った女に魅せられた話をする者、遠くの地に移住した人たちの物語を話す者、沖縄の幽霊について語り出す者。酒、年金、お祭り、戦争、未来、死、バーベキュー、前世、話は多岐に渡り・・・どうも3人の会話は噛み合わない。それどころか、どうやらお互いに見えているのか、見えていないのかさえ怪しい。

頭上に輝くのは満天の星空か爆弾の光か——、彼らの語りから見えてくるものとは？

見えない隣人——幽霊や妖怪は日常に潜んでいる。わたしたちの隣人と言ってもいい。存在するかしないか、そんな議論は不要だ。見える人にしか見えない存在。見たくない人は見えない、とも言い換えることができる。ちなみにわたしは見えたことはないが見たい。見えないものがいたっていい。そういう「見えない隣人」が、もしも国や地域を飛び越えたらどうなるだろう？と考えたのが今作の構想のきっかけだ。戦争や地震などのあとには、幽霊の目撃談が増えるらしい。死者を思うことが、幽霊の誕生につながる。だとすれば、その存在はわたしたちの生活にとってなくてはならないもののようなのである。なお、イミグレは英語で移民を意味するイミグレーションから採っているが、出入国管理のことでもある。見えないのは隣人なのか、あるいはその存在を受け入れたくない側の人間か。時が経ち、幽霊の誕生理由が忘れ去られてしまったころ、幽霊は出自不明の妖怪になるんじゃないか、そんなことも考えている。

神里雄大《作・演出》

作・演出

神里雄大（かみさと・ゆうだい）

1982年生まれ。劇作家、舞台演出家。越境する人や文化をテーマに、自身の経験も交えた作品を創作する。2006年、『しっぽをつかまれた欲望』（作：パブロ・ピカソ）で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018年、『バルパライソの長い坂をくだる話』で第62回岸田國士戯曲賞受賞。国内外の舞台芸術フェスティバルへ招聘多数。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修員として2016年10月から2017年8月までアルゼンチン・ブエノスアイレスに滞在。著書に戯曲集『バルパライソの長い坂をくだる話』（2018年、白水社）、『越えていく人——南米、日系の若者たちをたずねて』（2021年、垂紀書房）。公益財団法人セゾン文化財団2023年度ゼゾン・フェローII。



神里雄大／岡崎藝術座『イミグレ怪談』那覇文化芸術劇場なはーと小劇場 撮影：大城直

スタッフ・キャスト

作・演出：神里雄大

出演：上門みき、大村わたる、ピアトリス・サノ、松井周

舞台監督：大久保歩（KWAT） 舞台美術：dot architects

照明：高田政義（RYU）、上田剛（RYU）

音響：西川文章、吉田涼 衣裳：大野知英 映像：嶋田好孝、福岡想

宣伝美術：banko LLC.

制作：武田知也（bench）、平野春菜

製作：岡崎藝術座／共同製作：那覇文化芸術劇場なはーと

企画制作：一般社団法人ベンチ

主催：久留米シティプラザ（久留米市）

助成：令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

日程

2023年

9月2日（土）17:00開演★

9月3日（日）13:30開演☆

※開場は開演の30分前

上演時間：100分間予定

上演言語：日本語（英語・スペイン語字幕あり）

★はアフタートーク、☆はシアターカフェ開催

シアターカフェ

観劇を経て、思ったこと、考えたことをシェアします。

日時：3日（日）終演後

会場：久留米シティプラザ スタジオ

進行：柴山麻妃（演劇批評家）

定員：15名（申込優先／当日飛び入り参加可）

料金：無料

申込方法：氏名、連絡先を明記の上、

メール（kcp-j@city.kurume.lg.jp）でお申込みください。

会場

久留米シティプラザ Cボックス

〒830-0031 久留米市六ツ門町8-1



○JR：久留米駅から路線バス10分、徒歩20分

○西鉄電車：西鉄久留米駅から路線バス5分、徒歩10分

○バス：「六ツ門・シティプラザ前」バス停下車

※久留米シティプラザ地下駐車場（114台／1時間200円）ほか周辺の駐車場をご利用ください

問い合わせ

久留米シティプラザ

TEL:0942-36-3000（10:00～19:00/

全館保守点検による休館あり）

FAX 0942-36-3087



チケット

料金（全席自由・税込）

一般 3,500円

U25（25歳以下）2,000円

高校生以下 1,000円

※高校生以下、U25チケットは入場時要証明書提示

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※託児サービス有（定員有／無料／要事前予約 TEL 0942-36-3000）

※車椅子でご来場の方は事前にお問い合わせください。

チケット発売日

2023年7月8日（土）10:00

チケット取扱い

久留米シティプラザ2階総合受付

（10:00～19:00／全館保守点検による休館あり）

久留米シティプラザオンラインチケット
kurumectyplaza.jp/pages/ticket

関連事業

プレクチャー

「劇場で考える～国際／交流～」

本作品の背景にある海を越えて移動する人々をめぐる諸課題をテーマにしたトークイベントを行います。

ゲスト：城野敬志（art space tetra アートディレクター）

大和佐智子（専修学校久留米ゼミナール日本語学科 主任教員）

日時：2023年7月17日（月・祝）14:00～15:30

会場：久留米シティプラザ 中会議室

料金：無料（要申込み）

締切：7月7日（金）締切

※申込み方法など詳細は久留米シティプラザ公式WEBサイトをご覧ください。

久留米シティプラザでは、独自の視点で時代を捉え、表現方法をも模索し応答しようと試みる意欲的な作品をセレクトし、「知る／みる／考える 私たちの劇場シリーズ」として上演しています。